

よいよいと信州へ！

その15

ガンホヤック・ボムザンダンさん

(愛称・望見(ボム)マ) 20歳

信州大学 経済学部 経済学科 留学生



学年末、昼からのバイトで忙しい彼女とカクラモールでお会いました。とても大学生とは思えない可愛いお嬢さんと言った感じでした。

―留学先を日本に決めたのはなぜ？

小さい時から、ロシア語を勉強していたから、ロシアも大好きで、ロシアに留学してもいいと思っていましたが、中学生の時、私の通っていた第48学校に、香川県観音寺ロータリー・クラブの人たちがバレーボールを寄贈に来てくれ、始めて日本語を聞き、優しくソフトな言葉だと感じて、日本が好きになりました。

このロータリー・クラブとの交流が始まり、今でも家族ぐるみのお付き合いが続いています。私は高校卒業した夏、一週間ここにホームステイさせてもらい、ますます日本が好きになり、留学するから日本にと決めていました。

―何で信州大学にしたの？

私は三人兄妹の末っ子。母が私を日本の留学にふさわしい高校に入学させようと、ウランバートル市内を探し回って来て、私立「新モンゴル高校」に入学しました。この高校から信大留学を目指す生徒が多くなり、私も先輩を見習って、テストに合格し、信大に来ることが出来ました。信大には経済学部があり、銀行員の父に薦められ、日本の産業経済の勉強がしたかったからです。

―どんな勉強してるの？

昨年度は経済システム法学科で六法を中心に法律の勉強をしましたが、とても難しく、「歯が立たない」感じでした。この四月から経済学科に編入して経済全般の勉強をします。モンゴルは日本からたくさん支援をいただいています。でも、支援に頼ってばかりではダメです。自力で立ち上がる努力が必要です。小さい時、自由経済に慣れなくて、苦勞している両親の姿をみているから……しっぴかり勉強します。

―将来の目標は？

ファッション業界に興味があり、モンゴル特有のカシミヤ、フェルト、皮革などを使って気候・風土に合った製品を日本やヨーロッパに輸出する会社を創ることが夢です。

論理的なことだけでなく、日本経済を実践的に貪欲に勉強したい。そのため時間を有効に使いたいとも言った。中学生のような可愛い身体から、凄いやつタリテイを感じた。彼女なら、きつとやってくれると確信している。

インタビューアー 事務局 西澤 寛

イベント関連記事

本物の馬頭琴に触れて！

中野市「長丘小学校」の2年生の学級担任から2月末に、「スーホーの白い馬」の授業で本物の馬頭琴を子どもたちに見せたいとの申し出がありました。そこで当会所有の馬頭琴2棹はじめ民族衣装(帽子・靴)、写真パネルを貸しだしましたところ、たいへん好評であったとの報告とあわせ「馬頭琴のお礼の手紙」が多数事務局に寄せられました。



モンゴルの子どもを招き

親善交流

佐久市・モンゴル子ども親善大使交流(佐久市教育委員会主催)が1月26日・27日の両日に行われました。佐久市からは小学6年生7人、モンゴルからは駐日大使館職員の子ども、日本在住の小中学生5人が参加、餅つきなどをして互いの文化を紹介しました。

(1/27日付・信毎掲載記事より一部抜粋)

「モンゴル民俗音楽チャリティー・「ンサートゥン長野」を後援

近年、深刻化している内・外モンゴルの砂漠化を防止するため、緑化(植林)活動が活発に行われています。そこで表題のコンサートによる収益金を緑地化運動に役立たせる計画が進行中ですので、当会も趣旨賛同し後援することになりました。

期日：6月28日(土)

会場：長野市「NBSホール」

プログラム等は、実行委員会にて検討中です。

モンゴル関連書籍の紹介

「モンゴルの日本式高校」

日本の教育制度を取り入れ、モンゴル初の3年制の高校を創設したモンゴル人と彼らを支援し交流している日本人の物語。

森 修著 230頁 四六版 1260円

送料：80円

申込先：河北新報出版センター

〒980-0811

仙台市青葉区一番町1-14-35

TEL 022-214-3811

事務局からのお知らせ

ホームページを開設しました。

http://w2.avs.ne.jp/~mongol

事務所

〒380-0838 長野市東町528

TEL・FAX 0266-2335-6717

お急ぎの連絡は

携帯090-1828-5056

(西澤 寛へお願いします)